

分野別検討グループ「会計」での検討状況について

開催日時

《第1回》平成18年5月26日(金) 13:00~15:00

《第2回》平成18年6月12日(月) 10:30~13:00

グループでの主な検討事項 (はすべての分野に共通するもの)

【基準2「教育課程」関係】

教育課程が下線部の3点を踏まえた内容になっているかを見ることとした。

観点2-1 目的や授与される学位に照らして、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。

また、教育課程が次に掲げるような事項を踏まえた内容となっているか。

(1) 教育課程が、会計の実務に必要な専門的な知識及び会計専門職業の現場で必要とされる独自の判断力、論理的な思考力、応用能力等を修得させるとともに会計専門職業人としての高い倫理観を涵養するよう適切に編成されていること。

(2) 財務会計に関する科目、管理会計に関する科目、監査に関する科目を重点的かつバランスよく履修させるよう配慮がなされていること。

(3) 基本的な内容、発展的な内容、応用・実践的な内容を取り扱う科目がそれぞれ開設されるなど、段階的な教育を行うことができるよう教育課程が編成されていること。

【基準4「教員組織等」関係】

教員の質の確保の観点から、教員の業績等について公表等の状況を見ることとした。

()

観点4-3 教員の最近5年間における教育上又は研究上の業績等、各教員が、その担当する専門分野について、教育上の経歴や経験、教育上の指導能力を有することを示す資料が、自己点検及び評価の結果の公表その他の方法で開示されているか。

実務家教員について、実務と関わりのある教育活動を担当しているかについて見ることとした。()

観点4-5 実務家教員が、それぞれの実務経験との関連が認められる授業科目を担当しているか。

財務会計、管理会計、監査等の基本科目は、会計分野の専門職大学院では主要であり、専任の教授又は准教授が置かれることが適切とされたため、下線部分を追加することとした。

観点 4 - 6 各専門職大学院において教育上主要と認められる授業科目については、原則として、専任の教授又は准教授が配置されているか。
特に、基本的な内容の科目（財務会計、管理会計、監査等）については、いずれも当該科目を適切に指導できる専任の教授又は准教授が置かれているか。